

緑風

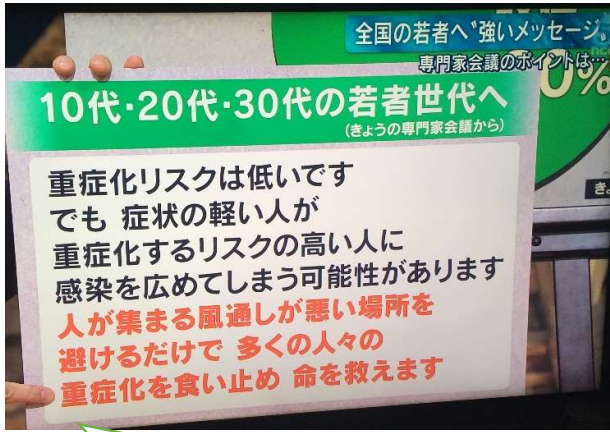


東彼杵中学校
校長 川内康範

明日から臨時休校です。

目的…新型コロナウイルスの感染拡大を抑えること

3年生は、10・11日に公立高校入試が行われます。そのような大切な時期ですが、新型コロナウイルスの感染拡大を抑えるために全国ほとんどの小・中・高校・特別支援学校が休校になりました。多くの施設が閉鎖したり、イベントが中止になったりしています。「長崎県はまだ陽性の人が出ていないから安心だ。」と考えるのではなく、「この後も出さないために」という気持ちで、県民みんなで危機意識をもって取り組んでいきたいものです。東彼杵町の小・中学校の臨時休校にご理解ください。



昨日のテレビのニュース画面です。目に見えない敵とは戦わずに、近づかない、逃げるのが最優先だと思います。

10日(火)、11日(水)公立高校入試
3年生、全力を出して頑張ってください。
健闘をお祈りしています。

17日(火)は第1回卒業式

プロ野球オープン戦や大相撲が無観客試合になったりしています。学校では、来賓の皆さん200名ほどに案内状を出していましたが、急きよ、お呼びしないことになりました。もちろん保護者の皆さんは招待しますが、1時間ぐらいの縮小版で行う予定です。閉じられた部屋に長い時間いることも感染拡大につながると言われているからです。規模が小さくなったり、時間が短くなったりしますが、私たちの卒業生を祝福する思いは変わりません。在校生と一緒に思い出に残る卒業式にしたいと思っています。卒業生の皆さん、保護者の皆さん、ご理解のほどよろしくお願い致します。



24日(火)は修了式

1・2年生は平常通りに登校してきてください。生徒の皆さんは教室にいたままで、校長式辞などはテレビ放送をする予定です。体育館を使わないのは多くの人の交流をできるだけ少なくするためです。また、ちよつと寒くなるかもしれませんが、空気を入れ替えをするため窓も頻繁に開けます。そのあと、今年度最後の学活です。通知表などを渡します。学級の友達や担任の先生ともお別れです。離任式も放送を使って行う予定です。例年は卒業生やPTAの皆さんにも来てもらっていますが、今回はご遠慮願います。

東彼杵中学校 校訓
夢に向かって
たんきゅう きょうどう じんあい
～探究・協働・仁愛～

「校訓」が決定しました。

令和元年度東彼杵中学校の教育活動が終わります。大変お世話になりました。まだ3月に入ったばかり。私自身このような文章を書く心の準備がまだできていなかったのですが、次に生徒たちと会うのは卒業式になってしまっています。振り返れば、1年近く前、4月8日(月)の開校式で東彼杵中の歴史の1ページが始まりました。統合により生徒数は188名になり、生徒も保護者の皆さんも、教職員も新しい出会いがたくさんありました。戸惑いもありましたが、生徒たちはよく頑張ってくれたと思います。そして、たくさんの成長がありました。ひとえに、保護者の皆様のご理解、PTAとしてのご協力などのたまものだと思います。この1年間、本当にありがとうございました。

「校訓」を考えるにあたっては、中学生の思い、学校教育の目的、役割、現在の日本、これからの日本のこと、中学生に身につけてほしいことなどを総合的に考えました。

言葉には、思いを込めることができます。辞書的な意味もありますが、具体的で、個人的な自分だけの思いを込めることもできます。「校訓」にも、中学生の皆さんの思いを込めてください。「校訓」が、皆さんにとって、思いの込められた特別な言葉となつてほしいと願っています。

3月2日(月)全校道徳を行い、新しい校訓の意味を理解し、校訓を身近なものと感じるために考える時間になりました。校訓について私は次のような説明をしました。ちよつと長いですが、紹介します。

1 校訓を考えるにあたっては、中学生の思い、学校教育の目的、役割、現在の日本、これからの日本のこと、中学生に身につけてほしいことなどを総合的に考えました。

2 皆さんには、いつも「夢に向かって」挑戦することを忘れないでほしいと思います。近いところでは、毎日の授業、生徒会活動、部活動などに対する挑戦です。「夢」は「目標」と言い替えてもいいと思います。授業の小テストでミスをしないという目標、生徒会の係活動をきちんと終わらせる、という目標、部活動の練習でパスを100回続けるという目標。小さな目標は、次の夢につながります。自分が向かうべき方向・夢を見失うことなく、中学校生活を充実したものにしてほしいと思います。そのような思いを込めて「夢に向かって」としました。

3 「探究」とは訓読みでは、「さがす」と「きわめる」です。「なぜ」「どうして」と考えることが探究です。皆さんはなぜ・どうしてと考える習慣が身につけているでしょうか。

例えば、社会科の授業で、江戸時代の次は明治時代、と覚えるだけではなく、なぜ江戸時代は終わりを迎えたのだろうかと考えることが探究です。また、部活動で、例えば野球部の人が、どうしたら速い球が投げられるだろうか。と考え、工夫することも探究です。環境問題について、「なぜ地球温暖化が進むのだろうか」と考え、本やインターネットなどで調べることが探究です。これらは、させられる勉強ではありません。主体的に、自分から探して行う勉強です。アクティブ・ラーニングとも言います。

夢に向かって「探究する」という姿勢を忘れない中学生であってほしいと思います。

4 「協働」は「協力」と似ていますが、ただ、力を合わせるだけでなく、「協力しながら、いっしょに働く、活動する」ということです。これからの時代は、お互いに、相手のよさを認めて、いろいろな活動を一緒にやっていく時代です。

協働を辞書で引いてみるとコラボレーションとありました。テレビなどでもコラボという言葉をよく聞きます。先日は、アニメのガンダムとキティちゃんが異色のコラボをした、と言っていました。個性のある者どうしがコラボすることによって今までなかった新しい価値が生まれます。親しい友達と仲良くするだけではなく、あまり親しくない人やまだ話したこともない人とも話し合ったり、一緒に活動したりすることが協働・コラボレーションです。東彼杵中の生徒に限らず、他の校の生徒とコラボする、外国の中学生ともコラボする。大人の人もコラボする。そんな力が必要とされています。2年生は、3年生になって7月、職場体験学習をします。その時、町内の企業とコラボして、新しい商品を開発するような活動も考えられます。どこでコラボして、何を生み出すのでしょうか。楽しみます。

夢に向かっていろいろな人と協働できる力をつけてください。

5 「仁愛」とは「思いやり」「人に優しく」という意味です。

去年4月新しく東彼杵中学校が誕生しました。皆さんには新しい出会いがたくさんありました。この1年間、相手のことを考え、優しく思いやることができたでしょうか。仁愛の心で友情は深まり、人生は楽しくなります。豊かな心・道徳心・マナーを身につけ、思いやりの心「仁愛」を育てましょう。

2月12日の給食のことです。3年2組で「かきたま汁ひっくり返し事件」が起きました。私は

連絡を受けて、3-2の教室に行ってみました。

生徒の皆さんは、悲しい顔をしておなかを空かしているかなあ、と思って階段を上がってみると、生徒たちのお腕にはいつもと変わらないくらいの量のかきたま汁が入っていました。担任の先生に聞いてみると、「他のクラスから分けてもらったんですよ」という説明でした。これがまさしく仁愛・思いやりです。このあと3-2の男子が各学級を回って、「ありがとございました」とお礼を言っただけだったのもよかったですね。この事件で誰ひとり責められなかったのもよかったですね。すばらしいできごとでした。この「かきたま汁ひっくり返し事件」は、仁愛という言葉とセットで、このあとぜひ語り継いでいってほしいと思います。中学生の皆さんにはこのような仁愛の心を持ち続けて、夢に向かってほしいと思います。

6 以上、「校訓」についての説明です。

言葉には、思いを込めることができます。辞書的な意味もありますが、具体的に、個人的な自分だけの思いを込めることもできます。

「校訓」のこれらの言葉にも、皆さんの思いを込めてください。「校訓」が、皆さんにとって、思いの込められた特別な言葉となしてほしいと願っています。

